

事業シート(令和3年度決算)

事業名	20130 公共施設等総合管理計画推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	・ゴミ処理施設や火葬場の再整備をはじめとして、対応年数の長い公共施設の適正配置と施設整備を進め、生活利便性の向上と将来に負担をかけない市政を進めます。 ・安全かつ良質な公共サービスが提供できるように、今後も継続性を持って、財政面での経費削減や効率性を高め、健全な行政運営に取り組みます。
			款	2	総務費		まちづくり戦略	5	長期的な視点による公共サービスの提供		
			項	1	総務管理費		根拠計画		公共施設等総合管理計画 過疎地域持続的発展計画		
			目	1	一般管理費						
担当課	総務部 行政経営課	内線	2478								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・公共施設の効果的な整備や統廃合、利便性が高く効率的な管理運営を進める。	概要	・高山市公共施設等総合管理計画に定める個別施設の方針に基づき、市民や関係団体等との合意形成に留意した対応を進めるほか、進捗に応じた計画のローリングを行う。 ・公共施設整備等官民連携(PPP)を活用した効果的な施設整備や、指定管理者制度等の活用による適切な施設運営を進める。
----	--------------------------------------	----	---

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		250	69	200	200	99	30
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		250	69	200	200	99	30
個票枝番	主な事業内容						
	公共施設等総合管理計画の推進	250	69	200	200	99	30
	指定管理者制度の運用						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・高山市公共施設等総合管理計画の推進に向けて、推進本部会議及びワーキンググループを開催し、情報共有や連携を図りつつ計画に基づく取り組みを実施した。 ・公共施設整備等官民連携(PPP)に関する情報を得るため、関係団体が実施する各種セミナーに参加した。 ・市内事業者を対象としたPPPに関する研修会を開催し、基礎情報や取り組みの進め方、最新動向や事例などについて学ぶ機会を提供した。(参加事業所:26社、30名)
評価等	・高山市公共施設等総合管理計画の取り組みや進捗状況について情報共有や連携を密にすることにより、全庁的な意識の醸成や計画の着実な推進に繋げることができた。 ・PPPに関する各種セミナーへの参加や市内事業者を対象としたPPPに関する研修会の開催により、専門的な知識の習得や全国の先進事例の収集を進めるとともに、今後の事業展開に繋がるネットワークを形成することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定 ・高山市公共施設等総合管理計画に基づく取り組みを進める。 ・PPPについて、民間事業者へのサウンディング型市場調査の実施やVFMの算定、従来手法との比較など、個別施設の導入可能性を検討する。

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・高山市公共施設等総合管理計画の推進に向けて、推進本部会議及びワーキンググループを開催し、情報共有や連携を図りつつ計画に基づく取り組みを実施した。 ・公共施設整備等官民連携(PPP)に関する各種セミナーに参加し情報収集するとともに、市内事業者等を対象としたPPPに関する研修会を開催し、基礎情報や取り組みの進め方、最新動向や事例などについて学ぶ機会を提供した。(参加事業所:38社、61名) ・民間事業者からの意見聴取(サウンディング型市場調査)を行い、高根多目的センター等のPPP導入に向けた詳細検討を実施した。(結果、従来手法を選定)
評価等	・高山市公共施設等総合管理計画の取り組みや進捗状況について情報共有や連携を密にすることにより、全庁的な意識の醸成や計画の着実な推進に繋げることができた。 ・PPPに関する各種セミナーへの参加や市内事業者を対象としたPPPに関する研修会の開催により、専門的な知識の習得や全国の先進事例の収集を進めるとともに、今後の事業展開に繋がるネットワークを形成することができた。 ・サウンディング型市場調査の効果と課題が明確になったため、個別施設のPPP導入検討を進める際の留意点を把握することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・高山市公共施設等総合管理計画に基づく取り組みを進める。 ・PPPについて、民間事業者へのサウンディング型市場調査の実施やVFMの算定、従来手法との比較など、個別施設のPPP導入検討を進める。

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		(千円)
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
400	390	390	190	390
400	390	390	190	
査定額	説明	説明		
200				
190	財産管理費から移行			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・公共施設の総合的な管理運営に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和3年度決算)

事業名	20220 行政経営推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	着実な計画の推進		市長公約	・安全かつ良質な公共サービスが提供できるように、今後も継続性を持って、財政面での経費削減や効率性を高め、健全な行政運営に取り組みます。
	款	2	総務費		まちづくり戦略								
	項	1	総務管理費		行政経営方針								
	目	2	人事管理費		根拠計画								
担当課	総務部	行政経営課	内線	2478									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・持続的な発展を可能とする市民協働と行政基盤の強化を図る。	概要	・行政経営方針を具体的に進めるため、実施計画に定める項目に取り組む。 ・行政経営推進委員会から、市の行政経営の取り組みに対して意見聴取し、今後の取り組みに反映させる。
----	-------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「市民、地域、行政が協働してまちづくりに取り組んでいる」と感じている市民の割合	60.3%	58.5%	↗
職員数(正職員・再任用職員・会計年度任用職員)	1,455人	1,432人	1,403人
「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じている市民の割合	54.1%	56.3%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		705	73	705	705	233	160
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		705	73	705	705	233	160
個票枝番	主な事業内容						
	行政経営推進委員会	705	73	705	705	233	160

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action) (千円)

R4予算		実施計画額		700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
500	500	500	△ 205	
500	500	500	△ 205	
査定額	説明	説明		
500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・令和2年度における行政経営の取り組み(79項目)のうち、60項目について実施した。 ・令和2年12月に行政経営推進委員会を開催し、地方公共団体が取り組んでいく行政手続きのデジタル化等について意見聴取した。
評価等	・長期的に行政を経営する視点で取り組む行政経営方針へと見直した初年度として、公共施設等総合管理計画と合わせ着実な推進を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定 ・行政経営方針の一層の推進を図る。 ・デジタル化の進展に伴うまちづくりの方向性や施策を体系的に取りまとめるDX推進計画の策定を進める。

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・令和3年度における行政経営の取り組み(84項目)のうち、62項目について実施した。 ・令和3年7月及び12月に行政経営推進委員会を開催し、行政経営方針の進捗確認を行うとともに、DX推進計画等について意見聴取した。 ・実施計画における進捗管理の区分、目標に向けた計画や成果が分かり易い様式へと見直した。
評価等	・公共施設等総合管理計画と合わせ行政経営方針に掲げる取り組みの着実な推進を図るとともに、新たに策定するDX推進計画について審議する場と位置付け、外部有識者の知見を取り入れつつ全庁挙げて推進できる体制を整えられた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・行政経営方針の一層の推進を図るとともに、次期方針の策定に向けた準備を進める。

担当課 予算要求 ポイント	・行政経営の推進に必要な経費を計上
---------------------	-------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和3年度決算)

事業名	21400 行政事務電算化推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	着実な計画の推進	市長公約	・AI(人工知能)やIoT(様々なモノがインターネットと繋がり便利になる)、ICT(情報通信技術)などの導入による市民サービスの向上に努めます。
			款	2	総務費		まちづくり戦略			
			項	1	総務管理費	根拠計画	過疎地域持続的発展計画 DX推進計画			
			目	14	情報化推進費					
担当課	総務部 行政経営課	内線	2457							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 利用者目線のデジタル化により"便利"な行政サービスを提供する。 デジタル技術の活用等により"快適"な暮らしを実現する。 デジタル社会の恩恵が享受できる"活気"ある地域づくりを進める。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 情報システムやネットワークを整備、維持管理するとともに、効果的に運用する。 最新のデジタル技術の活用や各種手続のオンライン化を進めるとともに、情報セキュリティ対策の徹底を図る。 デジタルデバイド(情報格差)に適切に配慮しつつ、DX推進計画に基づく各種の取り組みを進める。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		395,896	384,091	415,516	420,016	402,679	18,588
特定財源	国費(社会保障・税番号制度関連システム整備事業費 10/10)	14,767	14,720	1,064	5,564	2,864	△ 11,856
	県費()						
	その他(広告事業雑入、事務所等使用雑入、飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)	4,130	3,953	14,130	14,130	11,527	7,574
一般財源		376,999	365,418	400,322	400,322	388,288	22,870
個票枝番	主な事業内容						
	情報システム運用・改修、デジタル化推進、情報セキュリティ対策	197,820	190,278	177,740	177,740	177,679	△ 12,599
	機器保守、機器借上	109,650	107,907	113,210	113,210	112,879	4,972
	情報処理委託	54,000	54,144	54,000	54,000	51,655	△ 2,489
	情報システム負担金	24,626	24,180	22,886	22,886	22,424	△ 1,756
◎ 1	デジタル技術活用	4,200	4,188	41,680	46,180	32,322	28,134
	光ファイバ移設工事	3,000	919				△ 919
	地理情報システム(GIS)の多目的利用	2,600	2,475	6,000	6,000	5,720	3,245

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算	実施計画額	418,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
416,800	414,300	414,300	△ 1,216	
16,060	16,060	16,060	14,996	
4,390	4,350	4,350	△ 9,780	
396,350	393,890	393,890	△ 6,432	
査定額	説明	説明		
176,300				
124,540				
54,000				
26,400				
33,060	オンライン申請、システム標準化、AI・RPA活用、公共施設無線LAN整備ほか			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 情報システムのソフト保守及び機器保守、機器賃貸借、情報システムの維持管理 社会保障・税番号制度の情報連携 市税、軽自動車税、保育料、廃棄物処理料等の納税通知書、固定資産課税台帳等の異動処理、選挙人名簿帳票、課税台帳、各種受給者証等の印刷、封入封緘作業などの業務委託 市ホームページやメール配信による各種行政情報の提供 情報セキュリティ強化対策システムの運用 災害情報の集約など地理情報システム(GIS)の多目的利用 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を導入し、人が行っていた繰り返し作業を自動化したことにより、行政事務の効率化を図ることができた。 業務改善アプリを導入し、職員採用試験申込Webフォームを構築するなど様々な活用を進めた。 システム更新の際は、仮想サーバへの集約やクラウド化など検討し、コスト削減を図る必要がある。 行政事務の情報処理については、更なるコスト削減のため、委託事務処理内容の再検討や、処理件数の削減、事業の集約化に取り組む必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き情報セキュリティ強化に努めるとともに、GIGAスクール構想に対応した通信回線の増強など計画的な整備により、適切な運用管理を実施する。 AI(人工知能)やRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)など先端技術の活用、地理情報システム(GIS)の多目的利用、テレワーク環境の充実、行政手続オンライン化の推進に向け取り組む。 	

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 情報システムのソフト保守及び機器保守、機器賃貸借、情報システムの維持管理、情報処理業務の委託 市ホームページやメール配信による各種行政情報の提供 情報セキュリティ強化対策システムの運用 都市計画図の公開など地理情報システム(GIS)の多目的利用 汎用電子申請システム等を活用した行政手続のオンライン化の拡充 AIチャットボットやAI顔認識システム、RPAの活用 テレワークやテレビ会議の通信環境拡充 GIGAスクールに対応したネットワーク強化 	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 行政手続オンライン化の拡充、AIチャットボットによる問合せに24時間対応できる環境整備により、市民の利便性向上や事務効率化が図られた。 テレワークの推進、テレビ会議の活用促進により働き方や意識の改革が図られた。 GIGAスクールに対応したネットワークや情報セキュリティの強化を進めたが、世情の混乱に伴い不審メールが増加しており、セキュリティリスクへの対策を引き続き強化していく必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカードを活用した行政手続のオンライン化の推進、基幹情報システムの標準化、AI・RPAなど先端技術の活用、テレワークの推進などデジタル・トランスフォーメーションのさらなる推進に取り組む。 公共施設における公衆無線LANの整備など個人端末やテレビ会議の普及に対応したネットワーク環境の充実を進める。 	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術のさらなる活用による市民サービスの向上と業務効率化に必要な経費を計上 情報システムの安全性や耐久性を確認した上で、更新時期を後年度へ先送り
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	21400 行政事務電算化推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> R3新規	<input type="checkbox"/> R4新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	総務部 行政経営課
枝番・内容	1 デジタル技術活用		<input checked="" type="checkbox"/> R3拡充	<input type="checkbox"/> R4拡充		款	2	総務費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	総務管理費	内線	2457	
		<input type="checkbox"/>		目		14	情報化推進費	作成年月	R4.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者目線のデジタル化により“便利”な行政サービスを提供する。 ・デジタル技術の活用等により“快適”な暮らしを実現する。 ・デジタル社会の恩恵が享受できる“活気”ある地域づくりを進める。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・最新のデジタル技術の活用や各種手続のオンライン化を進めるとともに、情報セキュリティ対策の徹底を図る。 ・デジタルデバインド(情報格差)に適切に配慮しつつ、DX推進計画に基づく各種の取り組みを進める。
----	--	----	---

[参考] R2決算(Do・Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	4,200
	繰越	
	補正等	
	最終	4,200
決算額		4,188
対前年度増減額(決算)		2,863

[参考] R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	41,680
主な経費	・システム改修費、運用費ほか	
	対前年度増減額(当初予算)	
		37,480

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	41,680
	繰越	
	補正等	4,500
	最終	46,180
決算額		32,322
対前年度増減額(決算)		28,134

R4当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	33,060
主な経費	・システム導入経費ほか	
	対前年度増減額(当初予算)	
		△ 8,620

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
1. AI顔認識システムの導入 ・駅前と上三之町に設置したAIカメラにて人流調査を継続的に実施	
2. RPAの導入 ・税務課や市民課で定型事務のオートメーション化を実施	
3. 業務改善アプリの導入 ・八次総合計画アンケートや市職員募集、新型コロナウイルス対策窓口相談受付などの業務で利用	
[評価等]	
・AI顔認識システムで得たデータを活用することで、まちづくりや観光戦略につなげることが期待できる。	
・RPA導入により、定型事務における職員の業務時間とミスの低減を図ることができた。	
・業務改善アプリ導入により、職員が受付フォームやデータ蓄積集計システムを自ら作成することができるようになり、経費削減や業務改善を図ることができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用することで、利便性の向上や業務の効率化、経費削減などが期待できるため、次年度は拡大して取組む。
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容・スケジュール	
[事業内容]	
1. 行政手続のオンライン化の拡充 ・各種システムを活用したオンライン申請の拡充	
2. システム標準化 ・総合行政情報システムの機能追加や改修	
3. AI(人工知能)やRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の活用 ・AI顔認識システムの活用 ・RPAの活用	
4. テレワーク等の推進 ・テレワークやテレビ会議の通信環境拡充	
5. セキュリティ対策等の基盤整備 ・県セキュリティクラウドの更新と機能強化 ・市ネットワーク三層分離の機器更新	
6. その他 ・GIGAスクール(小中学校タブレット活用)に対応したネットワーク強化	
[スケジュール]	
4月～3月 ・システム改修、運用	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用することで、利便性の向上や業務の効率化、経費削減などが期待できるため、引き続き拡大して取組む。
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業実績・評価等	
[事業実績]	
1. 行政手続のオンライン化の拡充 ・汎用電子申請システムの導入、ワクチン接種予約等での活用促進	
2. システム標準化 ・総合行政情報システムの機能追加や改修 ・自治体情報システム標準化推進部会の設置、Fit&Gap調査の実施	
3. AI(人工知能)やRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の活用 ・AIによる人流調査、窓口混雑状況の可視化 ・RPAの活用により、新たに学校給食センター、福祉課の業務を効率化	
4. テレワーク等の推進 ・テレワークやテレビ会議の通信環境拡充、自治体テレワークシステムの導入(テレワーク延べ3,075人、テレビ会議940回)	
5. セキュリティ対策等の基盤整備 ・県セキュリティクラウドの更新と機能強化 ・市ネットワーク三層分離の機器更新	
6. その他 ・各小中学校から直接インターネットに接続する環境を整備	
[評価等]	
・汎用電子申請システム導入で、職員が受付フォームなどを簡単に作成することができるようになり、オンライン手続の増加、市民の利便性向上、経費削減や業務改善を図ることができた。	
・AI顔認識システムで得たデータを活用することにより、まちづくりや観光戦略における施策立案に活用できた。	
・RPAの活用により、定型事務における職員の業務時間とミスの低減を図ることができた。	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術を活用することで、利便性の向上や業務の効率化、経費削減などが期待できるため、引き続き拡大して取組む。
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容・スケジュール	
[事業内容]	
1. 行政手続のオンライン化の拡充 ・各種システムを活用したオンライン申請の拡充	
2. システム標準化 ・総合行政情報システムの機能追加や改修	
3. AI(人工知能)やRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の活用 ・AI顔認識システムの活用 ・RPAの活用	
4. テレワーク等の推進 ・テレワークやテレビ会議の推進	
5. その他 ・公共施設における公衆無線LANの整備 ・DX推進部会を主軸とした全庁的取り組みの推進	
[スケジュール]	
4月～3月 ・システム改修、運用	